



新喜多中だより

校長 河本 浩幸



～うちの生徒はみんな新喜多の子～

令和6年10月18日
第16号



学校 HP はこちら👉

『学びは楽しさの中でこそ最大化』

6月に発行した「新喜多中だより 第9号」で、「南紀白浜アドベンチャーワールド」の代表取締役社長である山本雅史さんの経営に対する想いや大切にされていることについて書きました。その後、山本さんに新喜多中だよりとともにお手紙を送らせていただいたところ、お返事をいただくことができました。その一部を少し紹介させていただくと、「私たちは『エンターテインメント』と『エデュケーション』をかけ合わせた『エデュテイメントパーク』を目指し、パーク作りを行っています。学びは楽しさの中でこそ最大化できるのだという思いからです。」と書かれていました。

「エンターテインメント」とは人々を楽しませる娯楽という意味で、「人の心を魅了して離さないもの」とも解釈されます。「エデュケーション」とは教育。ですので「エデュテイメント」とは「人々を楽しませる教育」、「人の心を魅了する教育」とでも訳せるでしょう。私自身も教壇に立って授業を行っていた頃から現在において、「学びの楽しさ」をととても大切にしています。なぜなら、楽しさこそが学びの原動力となり、子どもたちの成長を促すからと考えているです。これは教科の学びについてだけではなく、スポーツや趣味などどんなことにも言えるのではないのでしょうか。学びが楽しいと感じると、自ら進んで学び、探求し、挑戦する意欲を持つようになります。これは脳科学的にも立証されていることで、楽しさは脳を刺激し、学習意欲を高め、記憶の定着を助ける働きがあるとのことです。つまり、楽しさを感じながら学ぶことで、より深く、より長く記憶に残るのです。今後も授業や様々な教育活動を通して、子どもたちが楽しい環境の中で学び、学びを楽しいものとしていくことができるように、エデュテイメント性たっぷりの学校作りに努めてまいります。

なお、アドベンチャーワールドの山本さんから新喜多中学校の生徒のために、『「浜家」のファミリーヒストリー』と「永明からつながるスマイルストーリー」というパンダに関する2冊の本を寄贈してくださいました。アドベンチャーワールドで育つかわいいパンダの歴史とともに、その生態やそこで働くスタッフのインタビューなどがいっぱい詰まった本です。すでに図書室に並べましたので、興味のある生徒はぜひご覧になってくださいね。



●中学生吹奏楽部の集い

9月29日(日)、東大阪地区保護司甲会主催の「中学生吹奏楽部の集い」が東大阪市役所1F ロビーにて行われました。新喜多中学校の演奏曲は back number の「アイラブユー」と「Mrs.GREEN APPLE メドレー」。会場は大盛り上がりで、温かい拍手をたくさんいただきました。



●英語プレゼンテーション大会

9月14日(土)、東大阪市立日新高等学校にて「東大阪市中学生英語プレゼンテーション大会」が行われました。新喜多中学校からは3年生の杉村幸哉さんが出場し、「Change the Heavy Traffic Jams」という内容で堂々と発表してくれました。社会問題に切り込んだ素晴らしいプレゼンテーションでした。その後の全校集会でも披露してくれました。



●男子バスケットボール部、東大阪第3位！

9月に行われた市民大会において、男子バスケットボール部が見事第3位となりました。白熱した第3位決定戦では、試合終了残り27秒で相手を突き放す3Pシュートが決まり、そのまま勝利しました。これからの飛躍にも期待しています。

決勝トーナメントの戦績

- 1回戦(vs 石切中 44-38)
- 2回戦(vs 小阪中 90-34)
- 準決勝戦(vs 長瀬中 47-80)
- 3位決定戦(vs 花園中 54-49)



●新喜多中生、熱い運動会

10月4日(金)は雨天による延期となりましたが、10月7日(月)に運動会を実施いたしました。運動会当日は朝早くからたくさんの生徒が準備をしてくれて、無事に開催することができました。どの競技も新喜多中生らしく、一生懸命で元気いっぱい。最後は3年生の団体演技を1, 2年生の生徒も正面から見ることができました。

保護者の皆様、暑い中ではありましたが、たくさんの温かい声援ありがとうございました。

